

鳥取環境大学「地域マーケティング」から

山陰地域資源の ブランディング提案

— 憧れの創造 —

優れたブランドは、人の心に強く響き、宿ります。
そのようなブランドを、いかにして創ることができるのでしょうか。
私たちが山陰の地域資源を例としたブランディング提案を試みます。
地域のブランディングに関心のある方は、どなたでもご参加下さい。

セッション

1

貝がら

もなか

島根ワイン

恋山形駅

佐治和紙

宝喜温泉



セッション

2

打吹公園

だんご

西本酒造場

智頭町森林

セラピー

とうふ工房

雨 滝

鳥取温泉

2014年8月2日(土)

セッション 1 10:20-12:30

セッション 2 13:00-15:20

ギャラリーそら (鳥取駅前商店街サンロード内)

参加費：300yen (両セッション通して、セッション1か2のみ、とも)
地域ブランディング冊子、コーヒー、お菓子をご用意しています。
原則当日受付、事前予約もします。席に限りあり、満席の場合ご容赦下さい。

2014年度地域マーケティング受講生+磯野誠

鳥取環境大学

問い合わせ：磯野 誠

鳥取環境大学経営学部准教授

689-1111鳥取市若葉台北1丁目1番1号

Tel/Fax: 0857-32-9115

Email: m-isono@kankyo-u.ac.jp

www.makotoisono.com

ギャラリーそら アクセス

【鳥取駅をご利用の場合】
JR鳥取駅の大丸側(北口)から歩いて3分。
サンロード商店街の中にあります。

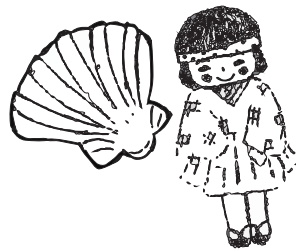
【お車をご利用の場合】
有料駐車場をご利用ください。
当ギャラリーには駐車場はありませんが、
わくわくパーキングに駐車していただくと
サービスチケット差し上げます。
(Gallery SORA HPより)



貝がらもなか

「貝がらもなか」は鳥取県気高町の和菓子で、その名の通り、貝がらの形をした珍しいもなかです。「御菓子処ふね」の看板商品でもあります。これが作られるに至った経緯は、地元である気高町の民謡「貝がら節」を人々に伝えていきたいという気持ちから誕生したとのことです。私たちはこの「貝がらもなか」について、その歴史と絡めながらそのブランディングを考えていきます。

河原央実、徳永大岳、桃實美佳



島根ワイン

島根ワインは、神話の里、出雲の国で島根ぶどうを原料に丁寧に醸造されたワインで、ご当地名物として売り出されています。また島根ワイナリーというワイン工場を拠点とした島根ワインの生産・販売を通じて、地元ローカルワインとしての地位の確立を目指しています。この島根ワインを、どのようにブランドし、その知名度と販売量を拡大できるのか、検討しました。

大川彩子、竹森千絵、三島大亮

恋山形駅

鳥取県智頭町にある恋山形駅は、智頭急行が運営する駅です。恋山形駅は、全国に4つしかない「恋」のつく駅と連携し、「恋駅プロジェクト」を展開しています。そのプロジェクトの一環で、駅舎をピンク色にする等のリニューアルをしました。さらに恋駅切符を販売し好評に終わりました。

しかし現状は、一日の平均乗降者数は2人、駅目当てに訪れる観光客も少ないようです。そこで全国各地の恋にまつわる観光地を参考にし、恋山形駅を恋に関する聖地・パワースポットとしてブランディングすることを提案します。

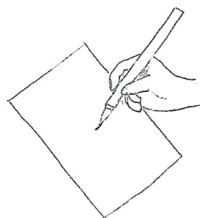
板持知世、黒川真結、藤谷帆花



佐治和紙

鳥取は因州和紙で有名です。しかし因州和紙といえば、青谷で、佐治はあまり知られていないかもしれません。佐治の因州和紙とは青谷のと比較して、どこに違いがありその魅力は何でしょうか。誰がターゲットでありどのようにブランドできるのでしょうか。和紙の工房訪問、製造現場の聞き取りをもとに、私たちが考える佐治和紙のブランドを提案します。

荒金歩夢、倉益将伍、西垣祐美、矢部貴寛



宝喜温泉

鳥取県気高町に位置する宝喜温泉は、温泉掛け流し 100%の薬湯温泉です。豊富な源泉を持つ魅力ある宝喜温泉ですが、アンケート調査の結果、県外の人のみならず県内の人でも行ったことのある人はまだ少ないことがわかりました。そこで私たちは、宝喜温泉により多くの人が来てもらうために、環境資源分析、定性調査等をもとにそのブランディングを検討しました。

木本喜子、西尾千佳、安田知奈美

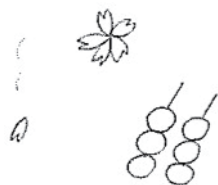


打吹公園だんご

鳥取のおみやげといえば…？と考えると、「因幡のしろうさぎ」、梨、蟹、など様々なものがありますが、そんな中で「打吹公園だんご」も含まれるでしょう。その「打吹公園だんご」は、県内の人にとっては人気のあるものですが、調査の限り、県外の人にはまだあまり知られていないようです。

もう少しの工夫で、今よりもっと「打吹公園だんご」の知名度を上げ、売上を伸ばすことはできないだろうか？「打吹公園だんご」の新しいブランドの形を私たちで考えてみました。

木村大亮、長尾亜紀、安田健一郎



西本酒造場

有限会社西本酒造は、鳥取県青谷町にある鳥取の中でも小規模の酒造会社です。ここは山陰初の女性蔵人がうまれた酒造会社でもあります。この女性蔵人、西本恵美さんの発案である「純米酒 笑」は、純米酒でありながら、女性らしい柔らかな味合いを造り出しています。しかし顧客の酒離れ傾向や流通の変化により、清酒市場は安定しているといい難く、また本酒造も課題を抱えておられます。そこで、あらためて西本酒造の資源を再定義し、ブランドの構築について考えていきます。

小田原誠、丹正純一、茂木裕美



智頭町森林セラピー

鳥取県智頭町では、地域づくりの一環として森林セラピーの取り組みが行われています。その森林セラピーとは、科学的に検証された森林浴効果を応用して、心と体の健康に活かそうという試みです。

現在、智頭町森林セラピーに來ている顧客層は50-60代の方が多いようです。今回、私たちは、二次資料や一般の人を対象とした定性調査をもとに、新たなターゲットや潜在ニーズを検討しました。

稲田愛、佐々木拓哉、松本祐二

とうふ工房雨滝

鳥取市国府町の山奥に、「日本の滝 100 選」に選ばれた「雨滝」があります。ここは、夏には避暑地になり観光地として賑わいます。雨滝から水を引いて豆腐作りを行っているのが「とうふ工房雨滝」です。ここでは、シンプルなものであるからこそこだわって日々豆腐を作っています。また「あいサポート」にも参画し、障がい者支援も行っています。ですが来客者はリピーターが多く、新規の来店は多くはありません。そこで、まだ「とうふ工房雨滝」を知らない人にもその魅力を伝えるため、今回研究を行いました。

秋本恵美、川中章代、末永みなみ



鳥取温泉

「鳥取温泉」とは、全国でも珍しい繁華街に湧く温泉であり、地元の人々に 100 年以上愛され続けてきています。私たちは、その「鳥取温泉」について、県内の他の温泉との比較、利用者の特徴、全国の観光客数等の二次資料分析をもとに、「鳥取温泉」の課題を指摘します。そして定性調査等からの知見をもとに、「鳥取温泉」が今後どのように発展すべきなのかを考えました。

小椋実紗、田中裕太、峯直樹

